

2026 年 9 月 17 日

能美防災株式会社

能美防災(株)妻沼東事業所敷地内における PFOS 及び PFOA の

検出に伴う対応について（第 6 報）

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区九段南 4－7－3 代表取締役社長 長谷川雅弘）は、弊社 妻沼東事業所（埼玉県熊谷市妻沼 5058 番地）敷地内において実施した地下水調査の結果、敷地内の地下水及び排水から、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）が環境省の指針値（PFOS 及び PFOA の合算値：50ng/L 以下）を超過する濃度で確認されたため、熊谷市に報告しました。

2026 年 4 月 22 日、熊谷市は、当事業所周辺の住民の皆さまへの周知及び飲用指導ならびに周辺井戸の水質調査を実施する旨を公表しました。その後、同市は 5 月 27 日及び 6 月 29 日に調査結果を公表し、6 月 29 日の第 3 回公表分では、調査した 8 井戸のうち 7 井戸で国の指針値※1 の超過が確認されました。なお、当該 8 井戸のうち、飲用井戸は確認されませんでした。

8 月 5 日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第 4 回公表分）」が資料開示され、調査を実施した 26 井戸のうち 12 井戸で国の指針値※1 の超過が確認されました。このうち飲用井戸 2 井戸でも超過が確認されました。

本日、9 月 17 日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第 5 回公表分）」が資料開示されました。今回調査した 19 井戸のうち、3 井戸で国の指針値※1 の超過が確認されました。なお、飲用井戸 1 井戸については、指針値の超過は確認されませんでした。

熊谷市は、引き続き周辺各地区における井戸の利用状況調査及び水質調査を実施する予定です。

一方、弊社は、6 月 12 日の調査で事業所最終放流口の測定値が前回より上昇していたことを受け、雨水排水管及び排水ピットに残留する PFAS の影響も考慮し、雨水排水系統の個別地点における調査と流出防止対策を進めています。

道閑堀排水路については、7 月 13 日の弊社調査において、事業所排水が同排水路に接続する地点で国の指針値を超える値が確認されました。その後、7 月 30 日の調査では、同接続地点及び下流の福川を含む各地点で、いずれも指針値を十分に下回りました。8 月 17 日に同接続地点で再び指針値の超過が確認されたため、改めて河川調査を実施し、9 月 1 日時点では、同接続地点及び下流の福川を含む各地点で、いずれも指針値を十分に下回っていることを確認しました。

弊社は、事業所敷地内の排水経路における濃度調査で濃度の高い箇所を確認したことから、8月6日に当該箇所へ局所的なPFAS処理装置を導入しました。また、9月には排水経路の高圧洗浄を行うことにより、PFASを含有する堆積物の除去をはじめとした、更なる流出防止対策を行う予定です。

今後も、事業所最終放流口及び公共用水域である道閑堀排水路への接続地点において定期的な水質モニタリングを継続し、状況の変化を注視してまいります。

※1 国の指針値

- ・PFOS及びPFOAの合算値50 ng/L以下（ng（ナノグラム）は10億分の1グラムを表す単位）
- ・指針値は、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2L飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

【今後の対応について】

近隣住民の皆さまをはじめ関係各位には、ご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。弊社は、埼玉県及び熊谷市等の関係機関と協議のうえ、適切な対応を検討するとともに、今後の対応状況についても、適宜、弊社ホームページ等で速やかにお知らせいたします。お問い合わせについては、以下の窓口までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

能美防災株式会社 広報室

メール：mfe-info@nohmi.co.jp